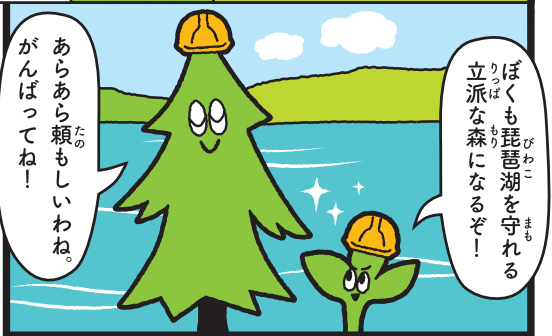
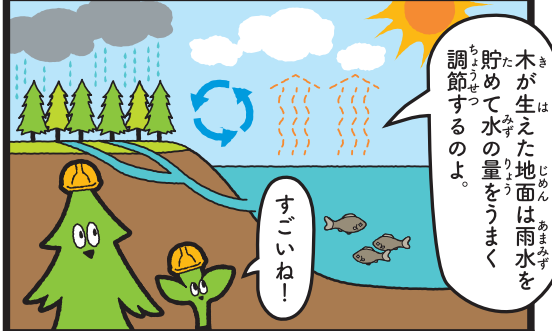
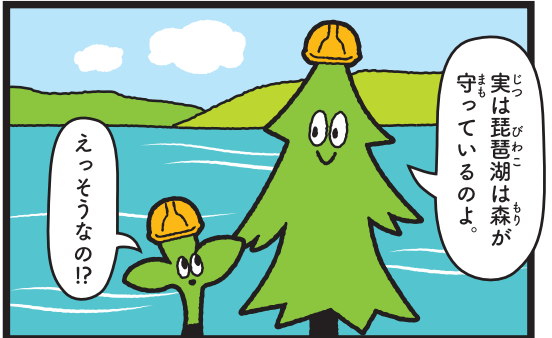




しんりん まも 森林がみんなを守る!?

すいげんりん ほぜん 水源林の保全

りっぱ そだ 【立派に育て!】



しがけん めんせき やくはんぶん しんりん びわこ なが みず
滋賀県の面積の約半分は森林で、琵琶湖へ流れる水

の源になっています。
江戸時代から戦後にかけて、森林の伐採が増え、一部の森林がはげ山となり、土砂災害や洪水がよく起こりました。こういった災害を防ぐために、山に木を植える取り組みが進められてきました。

人間が手入れを行い健康な森林になると、大雨でも山の土が雨水をいったん貯めてくれるので、川の水があふれるのを抑え、雨が降らない日でも川の水がなくなります。また、木の根っこのおかげで、山の土が流れるのを防いでくれるので、川の水がきれいになります。森林のおかげで川の水がきれいになり、ちょうどよい量に保たれ、ビワマスなど、川をさかのぼって卵を産む琵琶湖の魚を守ることもつながります。



しらべてみよう!

Q. 滋賀の山に登ったことはある? 山に生えているのはどんな木かな?